



あい 逢
愛 逢

第
50
号

特定非営利活動法人 愛逢

尼崎市小中島1-20-21

電話 06-6493-1424

FAX 06-6493-1443

発行責任者 長谷川 達雄

発行日 2013年7月30日

第10回総会が開催されました

6月8日(土)18時から小中島会館で第10回総会が開催されました。

新しい年度がスタートするにあたり、これからの愛逢の進む方向性、私達が目指す地域を理事、職員、スタッフ、会員さんと共に考えていきたいと思っています。

また愛逢だけではどうすることもできない問題もあると思いますので、地域の関連する仲間と一緒に(支えあって)高齢者だけに限らず小さな子供も、若い世代も、障害があっても誰も安心して暮らせる居心地のいい、やさしい街、居場所を創っていくことができればと思います。



海士新副理事長、長谷川理事長、中田事務長

今年度は理事、監事の改選の年になります。愛逢に初めからかかわって来られた理事の米田昌子さん、滑川清文さん、岡本双美子さん、監事の福田良子さんが任期満了に伴い退任されました。長い間ほんとうにありがとうございました。

前監事の海士美雪さんが理事に、また新たに東博美さん、曾根恵子さんが監事に就任しました。理事9人、監事2人の新体制でスタートとなります。

後日、理事会で理事長長谷川達雄、副理事長海士美雪を選任しました。

<中田 佳代子>



新体制の理事、監事

今回は、初めてくじ引で席を決め、あまり話した事のない方と話が出来良かったです。ビンゴゲームをしたり、皆で一緒に歌を歌ったり楽しく参加する事が出来ました。<成尾 幸恵>



懇親会

愛逢ニュース第1号は2004年8月23日に450部を発行しました。それ以来年4回の定期発行を続け、2013年5月27日には第49号を発行するに至りました。

昨年の第45号では地域配布特別版を約5,000部発行し、スタッフやボランティアと協力し地域の方々に配布しました。

今回は創刊当時のメンバーである楠元編集長、滑川氏、坂本前理事長、長谷川理事長に第50号を迎えるにあたり、愛逢ニュースについて語っていただきました。



ニュース創刊の頃

2004年4月25日、「NPO 愛逢を祝う会」を開催して活動がスタートされました。6月の理事会で、ニュースの発行と編集委員会の発足を決め、楠元きみゑ（運営委員）、石井淑子（監事）、滑川清文（理事）、八倉巻日美子（職員）の4名が編集委員を構成することになりました。

第1回編集委員会（6月18日）で（1）最初のニュースを「創刊準備号」とし、（2）そこでニュースの名称を会員から公募することにしました。「7月の運営委員会で、沢山の応募の中から“幸せを運ぶ器”になりたいとの思いを込めて、ロゴマークを「四葉のクローバー」、ニュース名を「愛逢」に決めました。

ちなみに、「愛逢」の題字は、坂本敬子理事長（当時）の筆になるもので、ニュースの用紙を萌黄色にしたのは、クローバーの色を「若芽のように成長する色」という意味を込めて選びました。<滑川 清文>



前・愛逢理事長から

創刊準備号で募集、応募から選ばれたNPO法人愛逢の機関紙名「愛逢」と四葉のクローバーのロゴが決まり、第1号発行にむけて準備が始まりました。

さて、「愛逢」の書体をどうする？…結局私にお鉢が回り、筆で楷書、行書、草書隷書いろいろな書体で書いてみたものの、当時、書道を習い始めて日も浅く、手探りした結局、自己流での「愛逢」となりました。

50号を機に新しいネーミング、新しい書体もあっていいかも…。(そのままいきます^o^by 編集長) <坂本 敬子>



祝・愛逢ニュース50号

愛逢ニュース編集長から

愛逢ニュースが50号になりました。

NPO法人愛逢が10年目になり、ニュースも同じ年になります。

お読み下さる皆様には大変感謝しております。読者の方の感想やご要望があれば・・・といつも願っております。これからも年に6回発行したいと編集者は紙面づくりに知恵を出し合い続けていく心意気です。「ニュース読んだよ」の声が聞こえたら励みになります。よろしくをお願いします。<楠元 きみゑ>

創刊号



現・愛逢理事長から



愛逢ニュースの発行が50号を迎えます。少し振り返ってみます。

2004年4月1日「くらしの助け合い愛逢くらぶ」が11回総会を最後に10年の歴史に幕をおろし、新たに「NPO愛逢」が幕を開けました。

それから間もなく、機関紙「NPO愛逢」（仮称）の創刊準備号が発行され（6月28日付）続いて機関紙名を「愛逢」とし、同時にロゴマークを「四葉のクローバー」に決めていきます。そして第1号「愛逢ニュース」が8月23日付で発行されています。

ほんとにいつの間にか、それから9年もの時間が流れていたのですね。これからも、発行が待ち遠しく思われるような機関紙を、そのためには充実した活動を皆さんと共に作りあげていくことを願っています。<理事長 長谷川 達雄>



ミッション(社会的使命)

私たちは多様な生き方が尊重され、誰もが安心して暮らせる地域を作る為に、仲間と支えあい(愛)、つながり(逢)っていきます。

東日本大震災募金

118,112円



レインボーハウスに寄付させていただきました。
引き続きご協力宜しくお願いします。

※レインボーハウスとは阪神淡路大震災後、あしなが育英会が神戸に「神戸レインボーハウス（虹の家）」を建設し、遺児たちの心を癒すための活動を18年間行ってきました。東日本大震災でも同様な支援を行っています。



New スタッフ紹介

はじめまして。西山裕規ひろきです。

4月から「愛逢の家」で職員として働いています。

誰もが住みよい地域になるように頑張りますので、これからよろしく
お願いします。



寄付金をいただきました

— 敬称略 —

(期間：平成24年8月1日～平成25年6月30日)

前田禎子 徳岡富志代 橋平浩子 米田昌子 中村大蔵 長谷川達雄
小西加保留 石井淑子 松井泰子 楠元きみゑ 富松英二 滑川清文
是澤宏美 横山良幸 濱口里栄 岡野勝子 岡本峰子

当法人の趣旨にご賛同頂き、17人のご協力頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

ヒロシマ平和行動参加！！

8月4日～5日に今回は、「愛逢」
から大山靖江さんが阪神医療生協
と共にヒロシマ平和集会に参加します。

第10回 水辺まつり（藻川中園橋河川敷）

9月22日（日）

雨天は23日（月・祝）順延です

ホット待夢



市内の公園でおもしろい看板を見つけました。

「犬のみなさんへ 人間を連れて散歩する時は 袋を持たせてください」
土手を散歩していると、所々チョークで○が書かれています。
その真中にあるのは犬の落し物で「ダメヨ」文字が…(-へ-)。
エチケットを守らない人に警告を発しているのですが、効き目は
いかに？

泉佐野市では、犬の糞を始末しなかった人に1,000円の過料徴収が
課せられるようになりました。でも罰せられるから強制的にルール
を守る」って・・・そういうもんじゃ、ないよねえ～。

犬のフンは
飼い主が持ち帰らしましょう



< 海 >